

川上板金工業所の取り組みや日々の活動を発信する広報誌

TAKE FREE

がわばん通信

VOL.11

AUG
2026 SUMMER

WEB版



一歩ずつ、
未来へつながるDX

#DX推進 #働き方改革 #業務効率化 #デジタル活用
#ものづくりDX #現場改革 #未来への挑戦



一歩ずつ、現場と未来をつなぐDX

一人の気づきが、みんなの力になる。



デジタル技術の進化で、ものづくりの現場も少しずつ変わり始めています。

川上板金工業所でも、DXを通じて、安全・品質・働きやすさの向上を目指し、現場に寄り添った取り組みを少しずつ進めています。

DXとは、単に新しいシステムを導入することではありません。人と人、情報、そして現場をつなぎ、より良い働き方をつくるための取り組みです。

今回は、当社が目指すDXと、その取り組みについてご紹介します。

01 DXとは？

 仕事の進め方を、もっと働きやすく変えていくこと。デジタルの力を活用して、情報を共有しやすくしたり、確認や報告をスムーズにしたり、一人だけが知っている仕事を、誰でも取り組める仕事へ変えていく取り組みです。難しい専門技術ではなく、毎日の仕事を少しずつ進めやすくする「働き方の改善」と考えると、イメージしやすいかもしれません。

02 川上板金工業所が目指すDX

現場では、「あの作業はあの人しか分からない」「あの情報は担当者に聞かなければ分からない」といった場面が、これまで少なからずありました。長年の経験や勘に支えられた技術だからこそ生まれる強みでもあります。しかし一方で、担当者が休んだり異動したりすると、仕事が止まってしまうリスクにもつながります。

DXが目指しているのは、こうした課題を少しずつ解決していくことです。

	現場の安全	気づいたことをすぐ共有し、事故を未然に防ぐこと。
	品質の向上	確認ミスや抜け漏れを減らし、より確かな仕事につなげること。
	知識の共有	経験や技術を、一人だけではなく、みんなで活かせるようにすること。
	新人が安心して学べる環境	新しく入った人も、迷わず仕事を覚えられること。
	働きやすい現場	無駄な確認や二度手間を減らし、本来の仕事に集中できること。

DXは、この5つを実現するための手段の一つです。一人の経験や工夫が、その人だけのものではなく、会社全体の財産として積み重なっていく。私たちは、そんな現場を目指しています。

社長から、皆さんへ

暑中お見舞い申し上げます。
38°超えの暑い日々が続いています。日本各所では酷暑日になっている地域もございますので、熱中症には十分注意いたしましょう。



今月のテーマは「未来をつなぐDX」。昨今、弊社も様々なDXに取り組んでいます。まだまだ不慣れなところが多々ございますが、DX・AIが十分に活用できるようになれば生産性・品質・納期短縮・安全性の向上にもつながり「みんなの力」になります。これからも未来に向けての生成発展を、みんなで取り組んでまいりましょう。そして、暑い夏をみんなで乗り越えましょう。

川上板金工業所 代表取締役 川上正城

03 DXが支える5つの取り組み



NAVINECT（在庫管理）

部品の場所や使用期限など、必要な情報にすぐアクセスできるようになりました。棚卸しにかかる負担や確認ミスも大きく減り、現場での作業効率向上につながっています。



Teachme Biz（作業手順の見える化）

動画や写真で作業手順をいつでも確認できるようになりました。「分からないから誰かに聞く」だけでなく、自分でも確認しながら安心して仕事を覚えられる環境づくりにつながっています。



iCheckup（安全点検のデジタル化）

点検・報告・改善までの流れをスムーズに進められるようになりました。現場での気づきを素早く共有することで、安全性の向上にも役立っています。



ドローン（現場の把握）

人の目だけでは時間のかかる現場確認も、より早く、より広い視点で把握できるようになりました。状況を効率よく確認することで、現場対応の迅速化にもつながっています。



デジタルサイネージ（情報発信）

交通安全の啓発や地域のイベント情報などを発信し、地域の皆さまとのコミュニケーションにも活用しています。デジタル技術を通じて、会社と地域をつなぐ新しい情報発信の形を目指しています。



どの取り組みにも共通しているのは、現場の困りごとを減らし、仕事をもっと進めやすくすることです。必要な情報を必要ときに確認できる環境が整うことで、一人で抱え込まず、困ったときには互いに支え合える現場づくりにもつながっています。DXは、現場で働く一人ひとりを支え、その積み重ねが会社全体の力になっていく取り組みです。

04 DXがつくる未来



今後さらに取り組んでいきたいのは、情報を集積・整理・分析し、必要な情報を必要ときに活用できる仕組みづくりです。情報がよりスムーズにつながることで、現場で生まれた気づきや改善案も、これまで以上に迅速な判断や新しい挑戦へと活かせるようになります。DXは、便利なシステムを導入して終わりではありません。一人の工夫や気づきが共有され、誰かの助けになる。その積み重ねが、現場の力となり、会社の未来につながっていく——私たちはそう考えています。

一歩ずつ、現場と未来をつなぐDX。

川上板金工業所は、これからも一人ひとりの気づきを大切にしながら、現場とともに未来へつながる一歩を積み重ねていきます。

夏の便り

毎日暑いですね。青い空に入道雲、セミの声―「あ、夏だな」と感じる瞬間がここ最近増えました。

現場で汗をかいている方も、事務所で涼みながら仕事をしている方も、いつもお疲れさまです。

暑いのは正直しんどいですが、道端に咲くひまわりを見かけると、なんだか少し元気をもらえたりもします。

今月は、社内のうれしいニュースと、この時期ならではの話題をお届けします。

新しい家族が仲間入り

この春から夏にかけて、うれしいニュースが続きました。

佳祐さんのご家庭に4月、梶原さんのご家庭に7月、それぞれ新しい命が誕生しました。

ご家族の皆さま、おめでとうございます！

まだ小さな手足も、これからどんどん大きくなっていくんだろうなと思うと、それだけでちょっと嬉しくなりますね。すくすく元気に育ちますように。

夏を彩る、まんのう町のひまわり畑

まんのう町では、7月になると帆山地区や中山地区が一面ひまわりになります。

青空の下に広がる黄色の景色は、写真で見ると実際に立つと結構圧巻です。この号が届く頃には、もう見頃を過ぎてきているタイミングかもしれません。今年間に合わなかった方は、来年の7月あたり、ぜひ狙って行ってみてください。

毎年同じ場所でも、見る年によって少しずつ違う景色に見えるのが不思議なところです。

終わりに

もうすぐお盆休みですね。

帰省する方、旅行に行く方、家でゴロゴロする方

―過ごし方はそれぞれだと思います。

少しの間だけでも忙しさから離れて、ゆっくりできる時間になりますように。

また来月、元気にお会いできるのを楽しみにしています。



佳祐さん
2026年4月誕生



🌻ご出産おめでとうございます。

梶原さん
2026年7月誕生

健康コラム・夏の「紫外線」と目の疲れにご用心

炎天下にいますと、日焼けするのは肌だけでなく、実は目もダメージを受けています。

紫外線を浴び続けた目は疲れやすく、かすみ目の原因になることも。サングラスや帽子のつばで紫外線を防いだり、休憩中に目を休ませたりすることも、目の健康を守る大切な習慣です。

※現場ごとに求められる安全対策は異なります。作業ルールを確認しながら、目の健康もしっかり守りましょう。





発行月：2026年8月（毎月発行） 発行：(株) 川上板金工業所
〒766-0021 香川県仲多度郡まんのう町四條858-1
TEL：0877-75-5156 FAX：0877-75-2258
URL：www.kawakamibankin.co.jp

企画・編集：イノベーション室
廣田室長 WANG

公式
イラスト



新しい
ページ

